

## 巻頭言

健康・栄養研究所長 山中 克己

今回、健康・栄養研究所年報の第4号を出版することができました。今回は、英文原著3編、和文原著1編、報告2編を数え、ほぼこれまでの創刊号、2号、3号の編数とほぼ同数であり、各教員の研究活動の継続・実行が感じ取れます。

この年報の意義は名古屋学芸大学管理栄養学部が付置されているため、学部の業務を一括して、社会への報告であります。管理栄養学部と健康・栄養研究所がどのような研究をしているか、また萌芽研究として何が生まれようとしているかをかいま見ることが出来ます。

毎号の繰り返しになりますが、この年報が当大学の教員はもとより退職された先生、海外の連携大学の先生、また地域の病院、福祉施設の皆さん、企業の研究所の研究者の発表の場になればと思っています。また、日本の特徴あるもの、たとえば介護保険制度、日本食のことなどを英語化して、海外に発信して行くのも任務の一つであります。

今年は名古屋学芸大学大学院博士前期に2名が入学し、昨年までの入学者の10名と合わせて12名の博士前期課程の学生が在籍しています。博士後期課程にも、現在は5名の博士後期課程の学生が在籍して、研究に励んでいます。

これらの若い力を伸ばす一助に、本年報が寄与できればとも考えています。

この年報について、ご意見をいただくと共に、今後のご支援、ご指導をお願いいたします。

2010年12月